

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)

【公開番号】特開 2015-32472 (P2015-32472A)

【公開日】平成 27 年 2 月 16 日 (2015.2.16)

【年通号数】公開・登録公報 2015-010

【出願番号】特願 2013-161580 (P2013-161580)

【国際特許分類】

F 2 1 S 8/10 (2006.01)

F 2 1 V 29/00 (2015.01)

F 2 1 W 101/10 (2006.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 S 8/10 1 6 0

F 2 1 V 29/00 1 1 1

F 2 1 S 8/10 1 5 1

F 2 1 W 101:10

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 7 月 29 日 (2016.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

第 3 パターン 1 2 3 は、第 1 部分 1 2 3 a、第 2 部分 1 2 3 b、および第 3 部分 1 2 3 c を有している。第 1 部分 1 2 3 a は、発光素子 3 1 1 の第 2 リードフレーム 1 1 2 と電氣的に接続され、発光素子 3 1 1 の後方へ延びている。第 2 部分 1 2 3 b は、当該第 1 部分 1 2 3 a の前端より第 2 パターン 1 2 2 の第 5 部分 1 2 2 e の右端に沿って前方に延びている。第 3 部分 1 2 3 c は、当該第 1 部分 1 2 3 a の前端より第 2 パターン 1 2 2 の第 5 部分 1 2 2 e の左端に沿って前方に延びている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

第 1 リードフレーム 1 1 1 と第 2 リードフレーム 1 1 2 が前後方向に配列されているため、これらに接続される回路パターンは、前後方向に延びる形状を基調としやすくなる。例えば第 1 パターン 1 2 1 の第 3 部分 1 2 1 c のように実質的に放熱に寄与しない部分は、前後方向に細長く延びる形状とし、第 2 パターン 1 2 2 の第 2 部分 1 2 2 b と第 3 部分 1 2 2 c のように放熱に寄与する部分を、その両側に配置することができる。これにより放熱面積を大きく確保することができる。